事例No.	1236
公表年度	R2
団体の属性	町村
団体名	愛媛県久万高原町

事例区分	地域活性化

タグ	・移住定住 ・地域運営組織 ・関係人口

事例種類	移住促進

事例内容・タイトル

町が新規就農者を手厚くサポート

出典

「地方への人の流れの創出」に向けた効果的移住定住推進施策事例集

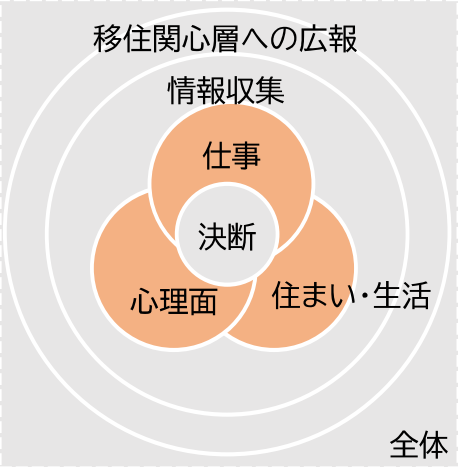
（16）愛媛県久万高原町　町が新規就農者を手厚くサポート

■久万高原町の取り組みの特長・ポイント

◆ **新規就農者に対して、町が補助金を出しながら就農研修を実施。**地元の「農業公園」で農地の斡旋もし、就農まで手厚くサポート。

◆ 空き家改修補助の**対象を県内からの移住者にまで広げたことで、県内他市町村との差別化につながった。**

■特徴的なフェーズ



地域	立地特性	人口規模	時間距離
四国	内陸	小・0.8	6時間

■移住定住施策の取り組み体制

- 主管課　：ふるさと創生課移住推進班
- 協力体制：全庁的に各課1～2名の移住担当者がおり、年2～3回協力依頼をしたり、各課からの提案・情報提供をしてもらう場を設けている。
- 現在の体制に至るまでの経緯：移住施策自体は町長から話を出したが、各課からの取り組みは移住推進班から依頼した。
- 近年の動向：2016年までは移住相談は年数件だったが、移住促進班ができた2017年度には107件になり、現在は年間220～230件程の相談がある。

③ 仕事

新規就農者支援事業

- 就農研修を町で行っている。研修期間中は町から補助金が出る。原則2年研修し、農業公園アグリピアで農地斡旋も行う。
- 補助額は町外出身者の場合月15万円。配偶者に月5万円、第1子3万円、第2子以降2万円が交付される。
- 1年間で3名、2年間で最大6名を受け入れる。
- 町には就農研修専門の担当職員がおり、また、地域の先輩農家による実地指導もある。



図：就農研修の様子
出所：久万高原町ホームページ

④ 住まい・生活 ・ ⑤ 心理面のサポート

移住サポーター

- 町内で約30名の移住サポーターがおり、実際に移住するとなった際は彼らに現地を案内してもらったり、コミュニティの話をしてもらったりする。町から、空き家の情報提供も依頼している。
- 移住サポーターは公募もしたが、公民館単位で1人くらいは欲しいと思っていたため、公民館の会合に町職員が出向いて依頼し推薦をお願いした。

県内移住者も対象とした空き家改修補助

- 県内からの移住者には空き家改修の補助は出さない地方公共団体が多いが、久万高原町では県内からの移住者に対しても補助を実施。他市町村との差別化になっている。